

# 3代目会頭に遠藤さん (富士宮西 高2年)

## 富士宮 立候補2人で総選挙



立ち会い演説を行う候補者

富士宮高校会議所の3代目会頭を決める第2回FHS C総選挙が17日、同会議所の活動拠点である富士宮市西町の西町レトロ館で開

かれた。立候補者2人の最終演説の後、投票が行われ、遠藤祐太さん(富士宮西高校2年)が3代目会頭に選ばれた。会頭の任期は4月から翌年3月までの1年間となっており、現在の中村真緒会頭は今年3月で任期満了となる。これに伴い、会員の中から遠藤さんと松

平桃香さん(富士宮東高2年)が立候補し、それぞれのスローガンとマニフェストを書いたチラシを市内各所で配布。11日から16日まで同館で期日前投票も行われた。

同日は、地域住民ら約30人が立ち会い演説に耳を傾けた。中村現会頭があいさつに立ち、「自分が演説してからもう1年がたった。あっとい間だった。これから決まる会頭が、高校会議所として将来的には富士宮市を引っ張っていくリーダーとなることを期待します」と述べた。

選挙管理委員は周辺地域の区長が務め、委員長の中村伸介さん(健寿会長)は、「地域が、少しでも前進し、

3代目会頭選任のあいさつを述べる遠藤さん



の活性化には若者の意が必要。その代表となる会頭となれるのは名誉であり、周囲の期待も高い。地域おこし、町おこしに仲間と共に励んでいってほしい」と立候補者2人に期待を寄せた。

最後の演説ではそれぞれがマニフェストやスローガンを説明。松平さんは「大きな一歩ではないかもしれないが、少しでも前進し、確かな一歩だったと思わず成功させ、次の世代につながる活動をした代につなげていきたい」。遠藤さんは「創立メンバ―が卒業する節目(年)に、もう一度新しい風を引き起こす活動をした」と訴えた。開票の結果、3代目会頭に選ばれた遠藤さんは「まだ実感がわかないが、公約を1つ任する予定。遠藤さんには来年2月に富士宮市長から当月1日から新会頭に就